

第1回日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum

10月27日(土)

第1会場(木曽)	P1
第2会場(淀)	P1
第3会場(信濃)	P1
第4会場(穂高)	P2
第5会場(六甲)	P3

10月28日(日)

第1会場(木曽)	P4
第2会場(淀)	P5
第3会場(信濃)	P6
第4会場(穂高)	P7
第5会場(六甲)	P8

ランチョンセミナー

10月27日(土)	P10
10月28日(日)	P10

日 程：2018年10月27日(土)、28日(日)
会 場：砂防会館別館 シェーンバツハ・サボー
主 催：一般社団法人 日本病院薬剤師会

都合により、変更となる場合もありますので、予めご了承下さい

(敬称略)

10月27日(土)

第1会場：砂防会館別館シェーンバッハ・サボー 木曾

厚生労働省医政局経済課委託事業

「バイオ医薬品とバイオシミラーを正しく理解していただくために」

講習会

13:00～16:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（V-1：2.0単位）

「バイオ医薬品とバイオシミラーの基礎知識」

国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部

第3室主任研究官 日向 昌司

「バイオシミラーを評価するポイントと病院での導入事例」

京都大学医学部附属病院 薬剤部 副部長 米澤 淳

市民公開講座

16:30～17:30

「バイオ医薬品・バイオシミラーって何？」

京都大学医学部附属病院 薬剤部 副部長 米澤 淳

第2会場：砂防会館別館シェーンバッハ・サボー 淀

開会式

12:45～13:00

特別講演

13:00～14:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（I-1：0.5単位）

座長：一般社団法人日本病院薬剤師会 会長 木平 健治

「病院薬剤師への期待」

認定NPO法人 ささえあい医療人権センターCOML

理事長 山口 育子

第3会場：砂防会館別館シェーンバッハ・サボー 信濃

地方連絡協議会

14:30～17:00

<シンポジウム①>

中小病院委員会・療養病床委員会・診療所委員会企画 13:00～17:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（Ⅲ－1：2.5単位）

「中小・療養病院で取り組める処方適正化とは

～ポリファーマシーを中心として～」

オーガナイザー：樋島 学（中小病院委員会 委員長）

座長：樋島 学（中小病院委員会 委員長）

荒川 隆之（中小病院委員会 委員）

「ポリファーマシーの概要」

医療法人恒仁会 新潟南病院 武藤 浩司

「地域で取り組むポリファーマシー」

地域医療機能推進機構 九州病院 末松 文博

「腎からポリファーマシーを考える」

医療法人愛生会 くまもと温石病院 森 直樹

「チーム医療とポリファーマシー」

医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院 中川 貴史

「患者・家族のQOLを支えるために

～ジェネラリストとしての治療最適化への関わり～」

オーガナイザー：清水 孝子（診療所委員会 委員長）

丹下 悦子（診療所委員会 副委員長）

座長：武内 恵子（診療所委員会 委員）

渡辺 康二（診療所委員会 委員）

「有床診療所の一人薬剤師として」

医療法人為久会 札幌共立医院 阿部 往好

「疾病の重症化予防、チーム医療」

医療法人健清会 那珂記念クリニック 鯉淵 忠敬

「疾病の重症化予防、チーム医療」

公益財団法人日本心臓血圧研究振興会 榊原記念クリニック 高田 めぐみ

「企業診療所における実践的役割」

住友ビルディング診療所 丹下 悦子

「診療陪席、薬剤師外来」

医療法人社団家族の森 多摩ファミリークリニック 八田 重雄

<ワークショップ>

医療安全対策委員会企画

13:00～17:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度 (IV-1 : 2.5 単位)

「専従薬剤師 GRM のためのワークショップ」

オーガナイザー：土屋 文人 (医療安全対策委員会 前委員長)

舟越 亮寛 (医療安全対策委員会 委員長)

座長：土屋 文人 (医療安全対策委員会 前委員長)

【基調講演】

「医薬品安全使用のためのマニュアル改訂が求めるもの」

国際医療福祉大学薬学部 特任教授 土屋 文人

「医療安全管理部門における薬剤師専従 GRM に求められる機能」

「国立大学病院の場合」

北海道大学病院 薬剤部 沖 洋充

「私立大学病院の場合」

大阪医科大学附属病院 医療安全管理部 西原 雅美

「一般病院の場合」

NTT 西日本大阪病院 医療安全管理部 田中 義人

【ワークショップ】

メインテーマ

「医薬品安全管理室 GRM の実態を共有する」

ワークショップ1

「専従専任 GRM の役割の現状を把握共有する」

ワークショップ2

「専従専任 GRM のあるべき役割と要件を立案提言しよう」

ファシリテーター：土屋 文人 (医療安全対策委員会 前委員長)

池田 和之 (医療安全対策委員会 委員)

沖 洋充 (医療安全対策委員会 委員)

河瀬 留美 (医療安全対策委員会 委員)

菅野 浩 (医療安全対策委員会 委員)

増江 俊子 (医療安全対策委員会 委員)

三澤 純 (医療安全対策委員会 委員)

田中 義人 (NTT 西日本大阪病院)

西原 雅美 (大阪医科大学附属病院)

古田 康之 (昭和大学病院)

(敬称略)

10月28日(日)

第1会場：砂防会館別館シェーンバッハ・サボー 木曾

<シンポジウム②>

地域医療委員会企画

9:00～11:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度(Ⅲ-1:1.0単位)

「地域包括ケア時代における病院薬剤師の役割

“これからの薬剤師に求められるスキルを考える”」

オーガナイザー：荒木 隆一(地域医療委員会 委員長)

座長：荒木 隆一(地域医療委員会 委員長)

清水 孝子(地域医療委員会 委員)

「EBMを活かした処方提案(ポリファーマシーも含めて)」

医療法人徳仁会 中野病院 青島 周一

「ジェネラリストを目指す薬剤師へ1(感染認定・薬物療法専門を中心に)」

地域医療機能推進機構 札幌北辰病院 門村 将太

「ジェネラリストを目指す薬剤師へ2(医療安全・地域活動を中心に)」

霧島市立医師会医療センター 岸本 真

「患者さん、そして地域に寄り添う薬剤師

(認知症を含めた高齢者薬物療法を中心に)」

南国病院 川添 哲嗣

「一步踏み込んだ薬剤師業務

～情報インフラとしてのトレーニングレポートを例に～」

恩賜財団大阪府済生会中津病院 萱野 勇一郎

<シンポジウム⑦>

地域医療委員会企画

13:00～15:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度(Ⅲ-2:1.0単位)

「地域包括ケア時代における病院薬剤師の役割

“医療連携の架け橋としてのあり方”」

オーガナイザー：荒木 隆一(地域医療委員会 委員長)

座長：樋島 学(中小病院委員会 委員長)

遠藤 秀治(地域医療委員会 委員)

「外来薬剤師センターにおける入退院支援の役割」

岐阜県総合医療センター 谷沢 克弥

「連携室から始める地域連携活動」

宝塚市立病院 吉岡 睦展

「慢性期医療と地域連携」

公益財団法人日産厚生会 佐倉厚生園病院 本澤 葉留美

「地方都市における地域連携の取り組み」

医療法人生仁会 須田病院 定岡 邦夫

第2会場：砂防会館別館シェンバツハ・サボー 淀

<シンポジウム③>

実行委員会企画

9:00～11:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（V-3：1.0単位）

「高齢者の医薬品適正使用の指針を使いこなそう！」

オーガナイザー：林 昌洋（日本病院薬剤師会 副会長）

座長：林 昌洋（日本病院薬剤師会 副会長）

【基調講演】

「高齢者の医薬品適正使用の指針について」

東京大学医学部附属病院 老年病科 教授 秋下 雅弘

【シンポジウム】

「高齢者の腎機能低下時の薬物投与と薬物相互作用の考え方」

東京大学医学部附属病院 大野 能之

「高齢者薬物療法適正化への取り組み」

虎の門病院 那須 いずみ

<シンポジウム⑧>

医薬情報委員会企画

13:00～15:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（II-3：1.0単位）

「DI業務の進め方 2018 を実現するために」

オーガナイザー：望月 眞弓（医薬情報委員会 前委員長）

林 昌洋（日本病院薬剤師会 副会長）

座長：望月 眞弓（医薬情報委員会 前委員長）

後藤 伸之（医薬情報委員会 委員長）

「全体の概要」

慶應義塾大学病院 望月 眞弓

「大規模病院ができること、すべきこと

～実務の面から（情報収集と提供）～」

広島大学病院 富田 隆志

「大規模病院ができること、すべきこと

～実務の面から（薬事委員会等）～」

東京女子医科大学病院 木村 利美

「大規模病院ができること、すべきこと～教育の面から～」

神戸大学医学部附属病院 谷藤 亜希子

「大規模病院ができること、すべきこと～研究の面から～」

名古屋大学医学部附属病院 山田 清文

「中小規模病院ができること、すべきこと」

仙台市医療センター 仙台オープン病院 橋本 貴尚

「日本病院薬剤師会ができること、すべきこと」

虎の門病院 林 昌洋

第3会場：砂防会館別館シェーンバッハ・サボー 信濃

<シンポジウム④>

薬剤業務委員会企画

9:00～11:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（Ⅲ－1：1.0単位）

「外来患者への薬剤師業務の進め方」

オーガナイザー：宮本 篤（薬剤業務委員会 前委員長）

座長：眞鍋 伸次（薬剤業務委員会 委員）

矢野 亨治（薬剤業務委員会 前委員）

「がん領域」

熊本大学医学部附属病院 大山 高廣

「糖尿病領域」

京都桂病院 三上 有希

「認知症領域」

愛知学院大学薬学部 山村 恵子

「周術期領域」

神戸市立医療センター中央市民病院 吉田 千恵美

「ポリファーマシー領域」

KKR 高松病院 上野 良夫

<シンポジウム⑨>

実行委員会企画

13:00～15:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（Ⅱ－5：1.0単位）

「変革する医療を担う薬剤師職能とは ー次世代へのメッセージー」

オーガナイザー：松原 和夫（日本病院薬剤師会 副会長）

武田 泰生（日本病院薬剤師会 副会長）

座長：松原 和夫（日本病院薬剤師会 副会長）

武田 泰生（日本病院薬剤師会 副会長）

シンポジスト：宇津 忍（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 上席審議役）

木平 健治（一般社団法人日本病院薬剤師会 会長）

松原 和夫（京都大学医学部附属病院 教授・薬剤部長）

但馬 重俊（NTT 西日本大阪病院 薬剤部長）

武田 泰生（鹿児島大学病院 教授・薬剤部長）

閉会式

15:00～

第4会場：砂防会館別館シェンバツハ・サボー 穂高

<シンポジウム⑤>

臨床研究推進委員会企画

9:00～11:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（Ⅱ－6：1.0単位）

「創薬育薬チームにおける病院薬剤師の役割と人材育成を考える」

オーガナイザー：田崎 嘉一（臨床研究推進委員会 委員長）

近藤 直樹（臨床研究推進委員会 副委員長）

座長：田崎 嘉一（臨床研究推進委員会 委員長）

近藤 直樹（臨床研究推進委員会 副委員長）

「創薬・育薬に係る薬事規制とそのポイント」

北里大学 渡邊 達也

「創薬に対する病院薬剤師の役割（1）」

ーロゼックス®ゲルの臨床開発に寄与してー」

昭和薬科大学 渡部 一宏

「創薬に対する病院薬剤師の役割（2）」

ーオランザピン第Ⅱ相臨床試験を通してー」

国立がん研究センター中央病院 矢内 貴子

「育薬に対する病院薬剤師の役割

ー新薬承認後の薬剤師の活動を通してー」

国立がん研究センター東病院 松井 礼子

「創薬育薬医療チームの一員としての薬剤師の人材育成について」

長崎大学病院 鶴丸 雅子

<シンポジウム⑩>

薬学教育委員会企画

13:00～15:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（Ⅱ－6：1.0単位）

「どうする？改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した実習」

オーガナイザー：石井 伊都子（薬学教育委員会 委員長）

座長：石澤 啓介（薬学教育委員会 委員）

渡邊 真知子（薬学教育委員会 委員）

「本シンポジウムの意図（大学からの視点・要望）」

大阪薬科大学 中村 敏明

「総合大学の実務実習」

藤田保健衛生大学病院 山田 成樹

「薬学部がない県の実習」

鹿児島大学病院 屋地 慶子

「地域病院の実習」

中国中央病院 原 景子

「大学－病院－薬局の実習の実際と連携の在り方」

東北医科薬科大学 村井 ユリ子

第5会場：砂防会館別館シェンバツハ・サボー 六甲

<シンポジウム⑥>

精神科病院委員会企画

9:00～11:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（Ⅲ－1：1.0単位）

「ベンゾジアゼピン系抗不安薬・睡眠薬適正化へのアプローチ」

オーガナイザー：天正 雅美（精神科病院委員会 委員長）

谷藤 弘淳（精神科病院委員会 副委員長）

座長：天正 雅美（精神科病院委員会 委員長）

柳 智之（精神科病院委員会 委員）

【基調講演】

「ベンゾジアゼピン系薬剤の適正使用」

東京医科大学精神医学分野 東京医科大学病院メンタルヘルス科

主任教授 井上 猛

【シンポジウム】

「ベンゾジアゼピン系薬服用者に対する服薬指導」

東京女子医科大学 高橋 結花

「ベンゾジアゼピン系睡眠薬の適正化に向けて」

浅井病院 飯塚 大祐

「ベンゾジアゼピン系薬の減量方法」

東邦大学薬学部 吉尾 隆

<シンポジウム⑩>

精神科病院委員会企画

13:00～15:00

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（Ⅲ－１：1.0単位）

「精神科における病棟業務を再考（再興）する」

オーガナイザー：天正 雅美（精神科病院委員会 委員長）

谷藤 弘淳（精神科病院委員会 副委員長）

座長：谷藤 弘淳（精神科病院委員会 副委員長）

木藤 弘子（精神科病院委員会 委員）

【基調講演】

「今後の精神医療の方向性」

厚生労働省保険局医療課 高山 知子

【シンポジウム】

「統合失調症患者」

岡山県精神科医療センター 香川 あずさ

「双極性障害」

長野県立こころの医療センター駒ヶ根 五味 和彦

「思春期精神医療」

神奈川県立精神医療センター 小林 真美

ランチオンセミナー

10月27日（土）

ランチオンセミナー①

11:00～12:00 第1会場（シェーンバツハ・サポー木曾）

共催：東和薬品株式会社

座長：山田 成樹（藤田医科大学病院 薬剤部長）

「国際標準が求める医薬品安全管理の実際

～国際医療機能評価（JCI）認証への取り組み～」

聖路加国際病院 薬剤部長 後藤 一美

ランチオンセミナー②

11:30～12:30 第2会場（シェーンバツハ・サポー淀）

共催：日医工株式会社

座長：清水 淳一（東京都済生会中央病院 薬剤部長）

「炎症性腸疾患における生物学的製剤の役割とバイオシミラーへの期待」

東京医科歯科大学 消化器内科 准教授 長堀 正和

10月28日（日）

ランチオンセミナー③

11:30～12:30 第1会場（シェーンバツハ・サポー木曾）

共催：大原薬品工業株式会社

座長：神田 博仁（信州大学医学部附属病院 副薬剤部長）

「臨床検査値を活用した処方監査の質的向上」

千葉大学医学部附属病院 薬剤主任 横山 威一郎

ランチオンセミナー④

11:30～12:30 第2会場（シェーンバツハ・サポー淀）

共催：あゆみ製薬株式会社

座長：林 昌洋（虎の門病院 薬剤部長）

「アセトアミノフェンと肝機能検査」

北里大学医学部附属病院 臨床研究センター 教授 熊谷 雄治

ランチョンセミナー⑤

11:30～12:30 第3会場（シェーンバッハ・サボー信濃）

共催：日本化薬株式会社

座長：武田 泰生（鹿児島大学病院 教授・薬剤部長）

「これからの病院薬剤師のキャリアビジョン～求められる知識・技能・態度～」

山口大学医学部附属病院 教授・薬剤部長 北原 隆志